

町の考え方を問う

一 般 質 問

3月定例会では観光問題・教育問題など、町政全般へ8人14項目にわたり質問しました。



箱根湿生花園

観光

HOT21観光プラン実施計画実現のために、町長はより積極的な指導力の発揮を

Q 実施計画について、町長として積極的な指導力を発揮され、その実現に努める必要があると思うが

A この新観光プランは新しい観光戦略として、10年程度を目途とする観光地箱根のあり方の道しるべとなるものを策定するという考えから、また策定に際しては、住民等も含め行政以外からの幅広い範囲の声を反映していこうということ、平成13年度に各界各層の代表で構成する観光戦略会議を立ち

上げた。

平成13年度においては、優れた環境と多様な魅力でだれをも温かく迎える観光地を将来目標とする基本計画を策定していただき、14年度には将来目標像実現のための詳細計画となる実施計画の策定をお願いしている。

その実施計画には、一つの理念と五つの基本戦略とに集約をし、それぞれの戦略についてより細かな取り組み方策として、42のプロジェクトが示されており、行政、観光団体、民間、住民による役割分

担が併せて示されている。このことを踏まえまして、平成15年度には、優先順位の高い観光関連組織、情報、交通、そして外客受け入れ環境整備の分野についてプロジェクトチームを立ち上げ、関係業界の皆さんの参加を得る形で具体化、実現に向けた議論、検討を行うものである。

また、その進め方として、基本的には行政内部で検討を行い、関係業界等への説明、整備を行い、理解、協力をいただきながら具現化を図るものである。

それぞれ役割分担の中で行政が主体となって取り組むプロジェクトについては、財

一般質問ではこのほか次の事項も質問しました。(順不同)

- 申請された構造改革特区について
- 今後の計画にある幼児学園開設について
- 温泉の健康増進機能を全高齢町民に及ぼす施策について
- 「町民の足」としての公共交通機関充実のための町の施策について
- 保育園、小学校での給食民間委託について
- 耳鼻科、眼科の専門医の誘致について

政事情を勘案しながら事業化を図り、また、行政以外が主体となって取り組むプロジェクトについても、関係団体等に単に具体的な取り組み、努力を求めるだけでなく、行政として必要な協力、支援など積極的に行い、行政の長としてその実現に向けた努力をしていきたい。

したがって、議会におきましても、町の取り組みに對します理解、側面からの支援を心からお願いしたい。

なお、日本国内の社会経済環境が依然として厳しい中で、これからの観光地としての箱根の振興には、実施計画の中でも示されているように行政、業界、住民の三者がそれぞれの役割分担、連携の中で三位一体となり、全山あげての取り組みが求められています。で、関係団体、住民の皆さんにもご理解、ご協力をいただきながら、活気に満ちた多くの観光客の皆さんが愛される観光地「住んでよい町、訪れてよい町、働いてよい町」の実現に努めていきたいと考えている。